kosei
生かされ、生きるチカラ。

娘に教えられた、命を燃やして生きること。

湘南教会　鈴木康予さん

平成27年1月、鈴木康予さんの三女・伽奈さんが、左目の激しい痛みで緊急入院。眼球内に菌がたまり炎症が起きていた。それが悪化すると脳炎を発症する恐れがあるため、眼球摘出手術をすることになった。鈴木さんは、片目を失って義眼になったら、偏見や差別にさらされて、就職や結婚などを無事迎えられるかわからないと危惧し、心は大きく揺れた。しかし、生まれつき目の病を抱えてきた娘は悲観することなく、家族や友人に明るさをふりまき、勉強や部活に励んできた。その生きざまに目を向けず、眼球は取って欲しくないなどと我執にとらわれていたことに気づいた。伽奈さんは現在、手術の傷はすっかり癒え、義眼をつけて学校生活を謳歌している。鈴木さんはその姿に刺激を受け、「命を燃やして生きなければ娘に申し訳ない」という気持ちで、さまざまなことに挑戦しはじめている。

楽しく生きる

「諸行無常・諸法無我・一切皆苦」という、この世の真理に照らしてものごとを見る。それが、「苦を滅する正しい道」として教えられる「八正道」の、最初に説かれる「正見」です。それは、仏さまの教えに則って生きる基本であり、またすべてということができるかもしれません。

最近、心臓の手術を終えて退院された方が、「これまでは、心臓が動いていることに感謝したことなどありませんでした。でも、それは当たり前ではなかったんですね」と、しみじみ話してくれました。「ああ、これが正見なのだな」と、そのとき私は教えられた思いがしました。

自分の意志とは関係無く、心臓が休みなくはたらいている。その自然の摂理を直視し、爽やかな感動が病気の不安をかき消して、いかにも気持ちが楽になった様子が、その表情から見てとれたからです。そして、いま・ここに生きているという事実を「正見」で見れば、病気もまた、ありがたいことと気づくことができる感謝の対象であると、あらためて教えていただきました。

立正佼成会
www.kosei-kai.or.jp Eメール：info@kosei-kai.or.jp
〒166-8537 東京都杉並区和田2丁目11番1号　TEL.03-5341-1615

創立80周年